

■■■ 福祉社会学会ニュースレター 第52号 ■■■

Japan Welfare Sociology Association Newsletter No.52

<http://jws-assoc.jp/>

E-mail: maf-ws@mynavi.jp

***** INDEX *****

■第16回福祉社会学会大会 プログラム(速報版)

■事務局からのお願い(所属・アドレス変更届)

※この号はメーリングリストおよびWeb上での配信のみとなっています。

■第16回福祉社会学会大会 プログラム(速報版)

本年6月16日(土)・17日(日)の両日に中京大学豊田キャンパス(〒470-0393 愛知県豊田市貝津町床立101)にて開催される第16回福祉社会学会大会のプログラムの速報版をお届けします。

開催校：中京大学(愛知県豊田市貝津町床立101)

		一般	学生
大会参加費	事前振込	4,000円	1,000円
	当日	6,000円	3,000円
懇親会費	事前振込	4,500円	1,000円
	当日	6,000円	3,000円
お弁当+お茶 (2日目のみ)	事前振込	1,200円	1,200円

第1日目 6月16日(土)

10:30-11:30 編集委員会(85A) 研究委員会(85B)

11:30-12:45 理事会(85C)

12:30 受付開始(8号館1階ロビー)

13:00-15:30 自由報告/テーマセッション

[第1部会] 子ども・社会的養護(845) 司会：藤間公太(国立社会保障・人口問題研究所)

- 「子どもの貧困」に対する教育学部学生・教員の責任意識 杉井潤子(京都教育大学)
伊藤悦子(京都教育大学)
- 発達が気になる子の保護者支援の在り方——母親のライフストーリーをもとに 佐々木沙和子(帝京大学)

3. ケアの「家庭性」と「有償性」をめぐって——社会的養護の養育者の語りから

安藤 藍 (首都大学東京)

4. 中世的人権状況におかれた日本の子供と家族——国連子供の権利委員会の児相問題審議

水岡不二雄 (一橋大学)

[第2部会] 障害者・当事者組織 (841)

司会：岡部耕典 (早稲田大学)

1. 1970年代障害者運動 たんぽぽ運動における母親の経験——その障害観の揺らぎに注目して

平島朝子 (東京大学大学院)

2. 障害者総合支援法における「サービスパックモデル」ごとの介護給付費・給付時間分析

中根成寿 (京都府立大学)

3. 東大阪市のアルコール関係機関のネットワーク——連携と統合

豊山宗洋 (大阪商業大学)

4. HIV・エイズ予防啓発活動における疫学者とゲイ NGO の協働体制の展開について

井上智史 (九州大学大学院)

[第3部会] コミュニティ・地域 (842)

司会：妻鹿ふみ子 (東海大学)

1. 社会関係資本の検討——地域社会における若者支援を通じて 桑原 啓 (京都大学大学院)

2. 名古屋市での“生活支援事業”における住民組織の活動と医療生協の運動との比較検討

橋本吉広 (NPO 法人地域と協同の研究センター)

3. 地域福祉活動における圏域設定の課題——地域福祉政策における地域重視の現状から

高野和良 (九州大学)

4. 支援する対象としての“LGBT コミュニティ” ——トロント市 The519 のケースから

桜井政成 (立命館大学)

[テーマセッション①] 「計量研究をいかに政策提言につなげるか——新世代の福祉社会学」(844)

司会：上村泰裕 (名古屋大学)

1. 社会経済的地位と再分配への支持——ISSP のデータを用いたマルチレベル分析

池田 裕 (京都大学大学院)

2. 家族福祉と社会関係資本——SEM を用いた分析

北井万裕子 (立命館大学大学院)

3. 貧困母子世帯における生活保護制度の利用と問題

吉武理大 (慶應義塾大学大学院)

4. 計量研究と政策提言の距離

大久保将貴 (東京大学)

15:45-17:45 自由報告

[第4部会] 介護・看取り (845)

司会：株本千鶴 (椋山女学園大学)

1. 介護予防・日常生活支援総合事業における福祉ミックス——東京都 A 自治体の事例研究

金 鉉卿 (お茶の水女子大学大学院)

2. ホームヘルプにおける看護婦家政婦紹介所の歴史的展開

——家庭奉仕員・ホームヘルパーとの関係から

佐草智久 (立命館大学大学院・日本学術振興会)

3. ターミナル期における多職種連携の課題の考察——職能団体への聞き取り調査から

角 能 (東京大学)

高橋幸裕 (尚美学園大学)

[第5部会] ケア・社会化 (841)

司会：齋藤暁子 (島根県立大学)

1. 社会福祉領域における「社会化」——介護、医療、子育て、成年後見の社会化に焦点をあてて

白石敦子 (日本社会事業大学大学院)

2. ヤングケアラー概念の再構成——肯定的・否定的影響の理論化にむけて

大橋恭子 (慶應義塾大学大学院)

3. 高齢者ケアにおける家族と社会的文脈——ヨーロッパの国際比較データによる分析

西野勇人 (立命館大学大学院)

[第6部会] 権利・共生 (842)

司会：冨江直子 (茨城大学)

1. 共生社会の論理と概念図式——「生活の質」およびガバナンスとの関連で

三重野卓 (山梨大学)

2. 社会福祉の範囲規定における境界のゆらぎと権利侵害——潜在的権利侵害はどこに生じるか

寺田貴美代 (新潟医療福祉大学)

3. 女性活躍推進政策下で、女性は働きやすくなったのか——半構造化面接による検討

榊原圭子 (東洋大学)

18:00-20:00 懇親会 (2号館食堂)

第2日目 6月17日 (日)

9:00 受付開始 (8号館1階ロビー)

9:30-12:00 自由報告

[第7部会] 高齢者・介護 (845)

司会：天田城介 (中央大学)

1. 高齢者サロンにおける「支援者」の位置——支援者／被支援者間の役割移行の観点から

木村雅史 (東北大学)

2. 宅老所の展開からみる地域共生社会概念の検討

杉岡直人 (北星学園大学)

畠山明子 (北星学園大学)

3. 老年期の中国残留孤児の生活実態と課題

鍾 家新 (明治大学)

4. 韓国のベビーブーム世代の住居関連移動とその規定要因

——実態、研究動向、研究結果を中心に

金 相淑 (お茶の水女子大学大学院)

【第8部会】社会福祉政策 (841)

司会：平野寛弥 (目白大学)

1. 非営利—営利サービス供給組織のエコロジー——Middle-ground approach
須田木綿子 (東洋大学)
2. Age-Period-Cohort モデルによる福祉意識の分析
中田知生 (北星学園大学)
武川正吾 (東京大学)
3. パネルデータによる再分配意識の規定要因分析——自己利益仮説とイデオロギー仮説の検証
伊藤理史 (同志社大学)
4. 日本型福祉国家における再分配政策支持の規定要因
——公共事業・高齢者福祉・稼働能力者に対する福祉の比較から 永吉希久子 (東北大学)

【テーマセッション②】拡大テーマセッション「福祉専門職と社会学」(842)

司会：樫田美雄 (神戸市看護大学)

1. 福祉専門職と社会学——このテーマを検討する意義あるいは、専門職の困難と社会学
樫田美雄 (神戸市看護大学)
2. 親支援職における社会学的視点とジェンダー視点の必要性——NPO と大学での支援経験から
巽 真理子 (大阪府立大学)
3. 政策科学と社会福祉学の方法論から「社会学を基盤とした専門職」構想を考える
中根成寿 (京都府立大学)
4. 社会福祉士養成課程における「実習」の効果と影響——職業意識形成・職業決定の観点から
中野航綺 (東京大学大学院)

12:15-13:15 総会・昼食 (411)

13:30-16:30 大会シンポジウム (開催校・研究委員会共催) (411)

「市民」の境界と福祉——「非 - 市民」と「部分的市民」から考える

コーディネーター：亀山俊朗 (中京大学)

司会：亀山俊朗 (中京大学)・上野加代子 (東京女子大学)

1. 部落問題とシティズンシップ 矢野 亮 (日本福祉大学)
2. 「外国人」のシティズンシップ 丹野清人 (首都大学東京)
3. 「障害者」と／のシティズンシップ 岡部耕典 (早稲田大学)

■事務局からのお願い (所属・アドレス変更届)

所属・アドレス等を変更された方は、お手数ですが maf-ws@mynavi.jp へてお知らせ下さい。
どうぞよろしくお願いいたします。

【発行・編集】 福祉社会学会事務局